

看護師の特定行為研修シンポジウム

投 影 資 料

「看護師による特定行為の提供活性化に向けた、
特定行為研修の受講ニーズの評価」

(2017年3月2日 開催)



看護師による特定行為の提供活性化に向けた、特定行為研修の受講ニーズの評価

－平成28年度厚生労働科学特別研究事業から－
(中間報告)

2017年3月2日

未来の医療を支える看護師の特定行為研修シンポジウム

京都大学医学部附属病院 診療報酬センター 加藤 源太



本日のお話

- 1) 当研究の背景
- 2) 調査概要
- 3) 研究結果概要 (中間報告)
- 4) 結語



本日のお話

1) 当研究の背景

2) 調査概要

3) 研究結果概要（中間報告）

4) 結語



特定行為に係る看護師の研修制度：普及状況

◆ 研修制度の概要

- 2025年に向け更なる在宅医療等の推進を図っていくため、医師又は歯科医師の判断を待たずに、手順書により一定の診療の補助を行う看護師を養成・確保することを目的に、当該行為を特定し、手順書によりそれを実施する場合の研修制度を創設し、平成27年10月に施行を開始した。

◆ 研修制度の普及状況

- 平成28年末時点で、特定行為研修を受講し、特定行為の実施資格を得た看護師は300人程度に留まっている。
- また、特定行為研修を行うことができる指定研修機関も平成28年末時点で28機関程度に留まっており、全国レベルで研修の機会が提供出来る体制が整っていない。

本日のお話

- 1) 当研究の背景
- 2) 調査概要**
- 3) 研究結果概要（中間報告）
- 4) 結語



当調査について：概要

◆ 当調査の目的

- 全国規模でどの程度の特定行為に係る研修受講ニーズが存在するのかを評価することで、今後の看護師特定行為研修体制の適切な構築や特定行為研修制度の充実化、更には2025年に向けた医療提供体制の充実化に資する情報を提供することを目的として、当調査を実施した。
- 調査に際しては、当制度に関する情報提供の目的のもと、看護師特定行為に関するリーフレットを同封し周知を図った。

◆ 調査方法

- 全国の医療機関を対象にランダムサンプリングを行い、抽出された医療機関に対して看護師の特定行為研修に関する質問票を郵送にて発送し、調査票を回収したうえで集計・分析を行う方法を採用した。

当調査について：調査対象

◆ 調査対象の選定

- 全国の病院、有床診療所、介護施設（特養等）及び訪問看護ステーションを対象に、ランダムサンプリングを行って調査を実施した。
- 各都道府県の医療機関から確実に意見を集約することを第一の目的としたため、今回は全国一律の抽出率を適用せず、各都道府県、各機関属性で均等な数の調査票を発送できるよう、抽出率を都道府県ごとに設定した。
- 調査期間は平成29年1月4日～2月10日とした。

当調査について：調査対象

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	総数
対象数	8,448	7,653	11,740	8,745	36,586
抽出数	1,974	1,974	1,974	1,974	7,896
	内訳は、何れも 47（都道府県）×42（施設）				
標本抽出率	23.4%	25.8%	16.8%	22.6%	21.6%
最も抽出率が高い都道府県	鳥取県 95.5%	山梨・鳥取 100%	山梨県 47.2%	鳥取県 89.4%	鳥取県 71.5%
最も抽出率が低い都道府県	東京都 6.5%	福岡県 7.5%	東京都 6.3%	大阪府 4.7%	東京都 6.5%

当調査について：調査内容

◆ 質問事項

- 対象機関における、特定行為研修制度の理解度について
回答者の属性、常勤看護師の在籍状況
特定行為研修を行っている看護師の在籍状況
回答者における、看護師の特定行為研修についての関心の程度
- 対象機関における、各特定行為区分に対する意向調査
所属の看護師に研修を受講させたい特定行為区分は何か
今後具体的に、看護師の研修派遣を予定している区分は何か
- 対象機関における、研修支援に対する意向調査
今後、指定研修機関への申請を予定しているか
今後、研修協力施設になることを予定しているか
- 自由記述
研修制度普及に際して、障害と感じていることは何か

回収状況の概要

	依頼施設数	無効施設数	有効施設数	回収数	回収率	回収内訳
病院	1,974	0	1,974	914	46.3%	25.8%
有床診療所	1,974	3	1,971	835	42.4%	23.6%
介護施設 (特養等)	1,974	3	1,971	732	37.1%	20.7%
訪問看護	1,974	58	1,916	916	47.8%	25.9%
施設不明回答	0	0		141	-	4.0%
総数	7,896	64	7,832	3,538	45.2%	100%

※2月16日までの到着分について評価

- 介護施設（特養等）で、回収率が低くなっているが、その他では45%以上の回収率となっている。
- 訪問看護ステーションにおいては、無効施設数が増えている。住所変更等により届かない事例が、他よりも多かった。

回答者の属性

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	属性不明	総数
回答数	914	835	732	916	141	3,538
施設長	18 2.0%	287 34.4%	140 19.1%	239 26.1%	40 28.4%	724 20.5%
看護部長	728 79.6%	154 18.4%	154 21.0%	37 4.0%	40 28.4%	1113 31.5%
事務長	54 5.9%	160 19.2%	48 6.6%	7 0.8%	6 4.3%	275 7.8%
その他	112 12.3%	223 26.7%	388 53.0%	625 68.2%	54 38.3%	1402 39.6%
無回答	2 0.2%	11 1.3%	2 0.3%	8 0.9%	1 0.7%	24 0.7%

- 病院では看護部長、有床診療所では施設長、介護施設や訪問看護ステーションでは「その他」の回答が最も多かった。

特定行為研修受講歴のある看護師の在籍

あなたの施設には特定行為研修を修了又は
受講中の看護師は在籍していますか？

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	属性不明	総数
回答数	914	835	732	916	141	
在籍あり	51 5.6%	6 0.7%	17 2.3%	16 1.7%	3 2.1%	93 2.6%
在籍なし	850 93.0%	786 94.1%	685 93.6%	882 96.3%	135 95.7%	3338 94.3%
わからない	11 1.2%	35 4.2%	29 4.0%	13 1.4%	2 1.4%	90 2.5%
無回答	2 0.2%	8 1.0%	1 0.1%	5 0.5%	1 0.7%	17 0.5%

- 受講歴のある看護師は病院で最も在籍率が高いものの、総じて受講の状況は低調である。

回答者における特定行為研修への理解度

あなたは看護師の特定行為を知っていましたか？

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	属性不明	総数
回答数	914	835	732	916	141	
知っている	871 95.3%	414 49.6%	386 52.7%	766 83.6%	99 70.2%	2536 71.7%
知らない	41 4.5%	414 49.6%	344 47.0%	145 15.8%	42 29.8%	986 27.9%
無回答	2 0.2%	7 0.8%	2 0.3%	5 0.5%	0 0.0%	16 0.5%

- 病院および訪問看護ステーションで認知度は高いものの、有床診療所や介護施設での認知度は低い。

今回の調査を通じた、研修への関心の喚起

あなたはこの（同封の）リーフレットを見て、看護師の特定行為に関心を持ちましたか？

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	属性不明	総数
回答数	914	835	732	916	141	
関心を持った	756 82.7%	516 61.8%	564 77.0%	738 80.6%	95 67.4%	2669 75.4%
関心を持たなかった	154 16.8%	310 37.1%	166 22.7%	169 18.4%	45 31.9%	844 23.9%
無回答	4 0.4%	9 1.1%	2 0.3%	9 1.0%	1 0.7%	25 0.7%

- 今回の調査を通じて、いずれの医療機関においても、特定行為研修への関心は、一定程度喚起することができた。

特定行為研修への看護師派遣に関する認識

あなたはこのリーフレットを見て、将来あなたの施設の看護師に特定行為研修を受講させたいと思いましたが？

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	属性不明	総数
回答数	914	835	732	916	141	
させたいと思った	391 42.8%	207 24.8%	250 34.2%	378 41.3%	60 42.6%	1286 36.3%
させたくないと思った	102 11.2%	106 12.7%	69 9.4%	65 7.1%	12 8.5%	354 10.0%
わからない	413 45.2%	514 61.6%	408 55.7%	465 50.8%	69 48.9%	1869 52.8%
無回答	8 0.9%	8 1.0%	5 0.7%	8 0.9%	0 0.0%	29 0.8%

- 特定行為への関心は一定程度喚起することができたものの、実際に派遣するか否かについては総じて慎重な意見が多い。

特定行為研修指定機関への申請

あなたの施設は、特定行為研修に係る指定研修機関への申請を現時点で予定していますか？

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	属性不明	総数
回答数	914	835	732	916	141	
申請予定あり 施設長承認済	16 1.8%	3 0.4%	6 0.8%	8 0.9%	2 1.4%	35 1.0%
申請予定あり 施設長未承認	7 0.8%	0 0.0%	2 0.3%	4 0.4%	2 1.4%	15 0.4%
今後検討予定	121 13.2%	82 9.8%	122 16.7%	195 21.3%	32 22.7%	552 15.6%
申請予定なし	753 82.4%	733 87.8%	580 79.2%	684 74.7%	101 71.6%	2851 80.6%
無回答	17 1.9%	17 2.0%	22 3.0%	25 2.7%	4 2.8%	85 2.4%

- 一部医療機関で検討は行われているものの、実際に申請を予定している機関は極めて限られている。

各特定行為区分に対する認識：病院

- ・ 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか？
- ・ 平成29年度～30年度に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	2 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	3 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	4 循環器関連	5 心臓ドレーン管理関連	6 胸腔ドレーン管理関連	7 腹腔ドレーン管理関連	8 ろう孔管理関連	9 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	10 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	11 創傷管理関連	12 創部ドレーン管理関連	13 動脈血液ガス分析関連	14 透析管理関連	15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 感染に係る薬剤投与関連	17 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	18 術後疼痛管理関連	19 循環動態に係る薬剤投与関連	20 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	21 皮膚損傷に係る薬剤投与関連
(受講させたいか否か)																				
51%	40%	49%	28%	10%	22%	23%	42%	46%	42%	65%	41%	35%	27%	57%	48%	55%	36%	29%	40%	47%
(看護師派遣の予定はあるか)																				
3.7%	4.3%	4.3%	2.6%	1.7%	1.9%	2.0%	3.5%	3.1%	2.9%	5.9%	3.2%	2.9%	2.4%	5.3%	3.2%	4.3%	2.2%	2.2%	2.8%	3.4%

- 区分により差があるが、50%以上の関心を引く区分もある。
- 実際の派遣予定については、大幅に割合が下がる。

各特定行為区分に対する認識：有床診療所

- ・ 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか？
- ・ 平成29年度～30年度に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	2 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	3 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	4 循環器関連	5 心臓ドレーン管理関連	6 胸腔ドレーン管理関連	7 腹腔ドレーン管理関連	8 ろう孔管理関連	9 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	10 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	11 創傷管理関連	12 創部ドレーン管理関連	13 動脈血液ガス分析関連	14 透析管理関連	15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 感染に係る薬剤投与関連	17 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	18 術後疼痛管理関連	19 循環動態に係る薬剤投与関連	20 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	21 皮膚損傷に係る薬剤投与関連
(受講させたいか否か)																				
37%	26%	24%	24%	12%	15%	17%	26%	31%	30%	46%	31%	22%	18%	42%	43%	41%	33%	25%	27%	32%
(看護師派遣の予定はあるか)																				
2.1%	1.1%	1.0%	1.1%	0.6%	0.6%	0.8%	1.6%	2.5%	2.5%	3.3%	2.3%	1.3%	1.4%	3.0%	3.1%	2.9%	2.5%	1.8%	1.9%	2.9%

- 病院と異なり、50%以上の関心を引く区分はない。
- 派遣予定についての傾向は病院と同じ。

各特定行為区分に対する認識：介護施設

- ・ 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか？
- ・ 平成29年度～30年度に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	2 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	3 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	4 循環器関連	5 心臓ドレーン管理関連	6 胸腔ドレーン管理関連	7 腹腔ドレーン管理関連	8 ろう孔管理関連	9 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	10 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	11 創傷管理関連	12 創部ドレーン管理関連	13 動脈血液ガス分析関連	14 透析管理関連	15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 感染に係る薬剤投与関連	17 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	18 術後疼痛管理関連	19 循環動態に係る薬剤投与関連	20 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	21 皮膚損傷に係る薬剤投与関連
(受講させたいか否か)																				
32%	17%	24%	23%	5%	6%	6%	37%	24%	25%	59%	20%	11%	12%	57%	58%	52%	13%	24%	52%	39%
(看護師派遣の予定はあるか)																				
2.2%	1.5%	1.9%	1.9%	1.0%	0.7%	0.8%	2.4%	2.0%	2.0%	3.3%	1.4%	1.2%	1.4%	3.8%	4.5%	3.9%	1.4%	1.9%	3.9%	3.0%

- 病院と異なり、呼吸器関連の区分について、関心が低い。
- 派遣予定についての傾向は病院、有床診と同じ。

各特定行為区分に対する認識：訪問看護

- ・ 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか？
- ・ 平成29年度～30年度に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	2 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	3 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	4 循環器関連	5 心臓ドレーン管理関連	6 胸腔ドレーン管理関連	7 腹腔ドレーン管理関連	8 ろう孔管理関連	9 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	10 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	11 創傷管理関連	12 創部ドレーン管理関連	13 動脈血液ガス分析関連	14 透析管理関連	15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 感染に係る薬剤投与関連	17 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	18 術後疼痛管理関連	19 循環動態に係る薬剤投与関連	20 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	21 皮膚損傷に係る薬剤投与関連
(受講させたいか否か)																				
50%	48%	60%	38%	15%	20%	26%	54%	51%	49%	76%	44%	24%	27%	72%	62%	64%	31%	34%	47%	52%
(看護師派遣の予定はあるか)																				
1.6%	2.1%	1.8%	1.4%	1.0%	1.0%	1.0%	2.0%	2.4%	2.5%	3.5%	1.4%	1.1%	1.2%	3.3%	2.5%	2.6%	1.5%	1.7%	2.6%	2.7%

- 受講に関する関心については、各医療機関の中で最も高く、様々な区分において、50%以上の関心を引いている。

自由記述より

特定行為に係る看護師の研修制度の普及に際して、障害になっていると感じていることは何ですか。また、それを改善するためにはどういった対策が必要だとお考えですか。自由に記述して下さい。

- 現在、全回答のうち半分程度の事例で、何らかのコメントを得ており、回答を分析しているところ。
- 詳細は、年度末の報告書等にて報告する予定である。

本日のお話

- 1) 当研究の背景
- 2) 調査概要
- 3) 研究結果概要（中間報告）
- 4) 結語**

今回の調査で明らかにされたこと

- ◆ 今回の調査によって、各医療機関における看護師の特定行為研修制度に対する関心を、一定程度喚起することができた。しかし、看護師の派遣や指定研修機関としての体制整備を具体的に検討する医療機関は、総じて限られていることが確認された。
- ◆ 「病院」「有床診療所」「介護施設（特養等）」「訪問看護ステーション」の四種類の施設ごとに、回答者の属性や当制度への関心、ニーズの高い特定行為区分等について差異がみられることが確認された。

今後に向けて

- ◆ 各都道府県における受講ニーズの差異に一定程度の傾向が存在する可能性が示唆されたものの、その理由についての分析はまだ十分にはできていない。
- ◆ 自由記述については、当制度に対する現場の具体的な意見が多く含まれている可能性があるが、まだ十分な分析には至っていない。
- ◆ 今後も分析を加え、施設属性毎に、看護師特定行為研修に関してどのような受講ニーズがあるかを詳細に調査する予定である。

ご静聴ありがとうございました

Genta KATO
(qq9f8hn9@kuhp.Kyoto-u.ac.jp)

